

三河では豊橋市鏡町1-2  
2、日之出が優秀賞に選ばれた。

表彰式は3月24日午後  
3時半から名古屋市中村区名駅4、ギャッブルラザ4階、鳳凰の間で行

われた。  
同賞は、2004年平成16年から実施しているもので、今回は企業組合など27件、NPO市民団体など2件、教育機関3件、行政機関3件の計38件、行政機関3件の計38件の応募があり、選考委員会委員長＝架谷昌信

名古屋大学名誉教授愛

知工業大学教授)で、矢塚性・効率性・効果・協働可能性・社会性・波及性の4点をポイントに選考を行い、金賞銀賞・銅賞各1件と特別賞2件、優秀賞6件を選定した。

日之出は、企業で不要になった制服などを独自の技術でマットなどに再製品化し、もう一度企業で利用するビジネスモデルを確立(事例名称:お客様ブランドでのエコ製品開発と改良の実践)。その独創性などが高く評価された。

そのほかの受賞企業、団体と事例名称。

資源循環や環境負荷の低減で優れた技術や事業で優れた技術や事業を実施している企業団体を表彰する第4回愛知環境賞の受賞団体が発表され東

# 豊橋の日之出に栄誉

## 愛知環境賞優秀賞を受賞

資源循環や環境負荷の低減で優れた技術や事業を実施している企業団体を表彰する第4回愛知環境賞の受賞団体が発表され東

日本では豊橋市鏡町1-2  
2、日之出が優秀賞に選ばれた。

表彰式は3月24日午後  
3時半から名古屋市中村区名駅4、ギャッブルラザ4階、鳳凰の間で行

われた。  
同賞は、2004年平成16年から実施しているもので、今回は企業組合など27件、NPO市民団体など2件、教育機関3件、行政機関3件の計38件、行政機関3件の計38件の応募があり、選考委員会委員長＝架谷昌信

名古屋大学名誉教授愛

知工業大学教授)で、矢塚性・効率性・効果・協働可能性・社会性・波及性の4点をポイントに選考を行い、金賞銀賞・銅賞各1件と特別賞2件、優秀賞6件を選定した。

日之出は、企業で不要になった制服などを独自の技術でマットなどに再製品化し、もう一度企業で利用するビジネスモデルを確立(事例名称:お客様ブランドでのエコ製品開発と改良の実践)。その独創性などが高く評価された。

そのほかの受賞企業、団体と事例名称。

資源循環や環境負荷の低減で優れた技術や事業を実施している企業団体を表彰する第4回愛知環境賞の受賞団体が発表され東

日本では豊橋市鏡町1-2  
2、日之出が優秀賞に選ばれた。

表彰式は3月24日午後  
3時半から名古屋市中村区名駅4、ギャッブルラザ4階、鳳凰の間で行

われた。  
同賞は、2004年平成16年から実施しているもので、今回は企業組合など27件、NPO市民団体など2件、教育機関3件、行政機関3件の計38件、行政機関3件の計38件の応募があり、選考委員会委員長＝架谷昌信

名古屋大学名誉教授愛知工業大学教授)で、矢塚性・効率性・効果・協働可能性・社会性・波及性の4点をポイントに選考を行い、金賞銀賞・銅賞各1件と特別賞2件、優秀賞6件を選定した。

日之出は、企業で不要になった制服などを独自の技術でマットなどに再製品化し、もう一度企業で利用するビジネスモデルを確立(事例名称:お客様ブランドでのエコ製品開発と改良の実践)。その独創性などが高く評価された。

資源循環や環境負荷の低減で優れた技術や事業を実施している企業団体を表彰する第4回愛知環境賞の受賞団体が発表され東

日本では豊橋市鏡町1-2  
2、日之出が優秀賞に選ばれた。

表彰式は3月24日午後  
3時半から名古屋市中村区名駅4、ギャッブルラザ4階、鳳凰の間で行

われた。  
同賞は、2004年平成16年から実施しているもので、今回は企業組合など27件、NPO市民団体など2件、教育機関3件、行政機関3件の計38件、行政機関3件の計38件の応募があり、選考委員会委員長＝架谷昌信

名古屋大学名誉教授愛知工業大学教授)で、矢塚性・効率性・効果・協働可能性・社会性・波及性の4点をポイントに選考を行い、金賞銀賞・銅賞各1件と特別賞2件、優秀賞6件を選定した。

日之出は、企業で不要

になった制服などを独自の技術でマットなどに再製品化し、もう一度企業で利用するビジネスモデルを確立(事例名称:お客様ブランドでのエコ製品開発と改良の実践)。その独創性などが高く評価された。

資源循環や環境負荷の低減で優れた技術や事業を実施している企業団体を表彰する第4回愛知環境賞の受賞団体が発表され東

日本では豊橋市鏡町1-2  
2、日之出が優秀賞に選ばれた。

表彰式は3月24日午後  
3時半から名古屋市中村区名駅4、ギャッブルラザ4階、鳳凰の間で行

われた。  
同賞は、2004年平成16年から実施しているもので、今回は企業組合など27件、NPO市民団体など2件、教育機関3件、行政機関3件の計38件、行政機関3件の計38件の応募があり、選考委員会委員長＝架谷昌信

名古屋大学名誉教授愛知工業大学教授)で、矢塚性・効率性・効果・協働可能性・社会性・波及性の4点をポイントに選考を行い、金賞銀賞・銅賞各1件と特別賞2件、優秀賞6件を選定した。

資源循環や環境負荷の低減で優れた技術や事業を実施している企業団体を表彰する第4回愛知環境賞の受賞団体が発表され東

日本では豊橋市鏡町1-2  
2、日之出が優秀賞に選ばれた。